



岩本山公園にて 撮影:植田真晴

VOL. 2809

Rotary International

「喜々として、自分の魅力を発揮しよう！」

第2809回例会 2024.4.24

ソング「日も風も星も」



富士ロータリークラブ **WEEKLY**

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30  
例会場:ホテルグランド富士  
TEL(0545)61-0360  
事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1  
ホテルグランド富士内  
会長:山下いづみ  
副会長:佐藤昌久  
幹事:田邊登崇  
副幹事:榮賀明

会長挨拶

山下いづみ



2024年4月24日 次の10年を目指して

4月6日は、無事に富士ロータリークラブ60周年記念式典と60周年事業が成功裏に終了いたしました。太田実行委員長、役員の方、池田様、吉野様、滝様、植田様をはじめ、皆様から適材適所でお力を注いで頂きましたことに感謝申し上げます。特に公開シンポジウムにおきましては、準備から当日までお力添えをいただきました塩谷様、田村様、赤堀様、佐野様、ホテルの関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

富士ロータリークラブの60年の歴史と先輩の方々が積み重ねてきたことに敬意を示し、傷をつけるような事業にはしたくない。今の時代を反映することをやりたい。その結果、参加者の皆様に喜んでいただきたいと事業に臨みました。

参加された方々の感想の一部を紹介いたします。

ロータリアンの方々

感動をしました。非常に良いお話を聞けました。大変素晴らしい事業でした。「DEI」を推奨するロータリーですが、なかなか難題が多いのが現状です。そうした中、今回の事業は大きなインパクトを残したと思います。

一般の方々

ロータリーの良さがよくわかりました。ロータリーの歴史、強みがわかりました。

これから60周年記念冊子も作成されますので、参加された方々の感想も掲載したいと思います。10年という年月はあっという間に過ぎていきます。次の10年は富士口

ロータリークラブが地域での存在価値を高められるよう、一会員として活動させていただきます。ご縁があって同じ時期に同じクラブで活動できる仲間です。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

親睦委員会

吉野 榮司

結婚記念日 田村 洋 S 5 6 . 4 . 1 9  
創立記念日 田村 洋 S 3 6 . 4 . 1 8

★私のスマイル

- 榮賀 明君 足元の悪い中ご苦勞様です。
- 山田昌宏君 妻の誕生日プレゼント感謝申し上げます。妻の笑顔が最高でした。ありがとうございます。
- 池田大祐君 来週29日のブナ林事業協力頂きましてありがとうございます。当日は9名の参加予定を頂いております。宜しくお願いします。
- 吉野榮司君 会員の皆様、60周年記念式典にあたり、ご協力有難うございました。これも一重に会員の皆様方が一致団結出来た事が成功の要因だと思います。今回の式典は富士ロータリークラブの歴史に新たな1ページを刻んだ事と思います。この場に関わられた事を感謝し、65年、70年を目指して頑張りましょう。私はいないかもしれませんが……(笑)
- 井出清章君 久しぶりの仲間の結束をみせた60周年記念行事、みなさんおつかれ様でした。私にはいい思い出の一ページとなりました。翌日京都の方々より思わぬ桜えびのおみやげが大変おいしかったと御礼のTelがありました。
- 太田義隆君 皆様の絶大なる御協力にて創立60周年記念式典を無事開催終了できました。実行委員長として心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 山下いづみ君 60周年無事終了しました。皆様のご協力のおかげでした。ありがとうございます。

本日合計 ￥20,000 7月からの累計 ￥285,726

例会プログラム予告

5月8日 新旧委員会・委員長引き継ぎ会議

5月15・16日 裸会

## 出席報告

吉野 榮司

2809回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	15名	17名	53.1%

2807回 4/3確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	8名	24名	75%

## 地区研修会報告

〈地区研修について〉

・アーチックRI会長

多くの人々を救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げ、活動を通してマジックを生み出せるよう呼びかけた。

・ガバナーエレクト 小泉様

社会によりそう奉仕を展開しロータリーのマジックを実現しよう

・3years rolling target/plan

ロータリークラブセントラルへの目標入力

目標入力をして、進捗状況を確認し、成果を図る作業を毎年積み重ねていく。

・ビジョン声明

私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています

・行動計画(四つの優先事項)

1 より大きなインパクトをもたらす(IMPACT)

ロータリーの行動によってもたらされる長期的な変化  
奉仕活動と平和推進、ポリオ根絶、財団への寄付推進

2 参加者の基盤を広げる(REACH)

会員増強、公共イメージ、ロータリーの価値の共有、DEI

3 参加者の積極的なかかわりを促す(ENGAGE)

クラブでの魅力的な体験や奉仕活動、会員満足度の向上、  
ロータクトとの協力

4 適応力を高める(ADAPUT)

DEI+Belonging、テクノロジーの利用と変化

行動計画はクラブでの体験を魅力的な物にするためのもの

RLIについて

報告者 山下いづみ



RLIコースは年間を通して、1コース、2コース、3コースを行います。そしてコース修了後の卒コースも準備しています。

卒コースは対面になります。

今までは、1コースから3コースまで順番は受講者に決めていただいていたのですが、これからは1コースから順番に受講をして

いただくようお願いするところです。

1～3コース オンライン受講 午前～4時ごろ

卒コース 対面 場所 静岡市(予定)

社会奉仕

報告者 池田大祐



今年度のロータリークラブ 共同目標

優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

ポリオ根絶、ロータリーの役割を強調する  
ポリオのない世界のための計画を立てる→  
・富士駅ロータリーでの募金活動方法の  
リニューアル検討

・ロータリークラブがポリオ根絶のための支援活動を行っていることを公共に広く知ってもらうための広報を計画。

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

クラブとロータリーファミリーの多様性、インクルージョンを育むための活動の推進

インクルージョン「個々の異なる属性(性格・特性)が受け入れられ、互いに尊重されている状態」→

・社会奉仕活動を充実させ、各活動の中でクラブメンバーが生き生きと活躍できる環境を整備したい

優先事項3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える全員参加のためのツールを充実させる→

・会員維持および会員増強の目的とした、富士ロータリークラブの社会奉仕活動を含めた各活動について、外部発信をさらに充実させたい。

富士ロータリークラブメンバーであることの、誇り・会員満足度を充実したい

優先事項4「適応力を高める」の目標

より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える→

・支援を希望する富士市内の情報を収集し、富士ロータリークラブならではの奉仕活動を実施する

近日の活動:5月12日(日) 2620地区奉仕活動セミナーZOOMにて  
地区補助金:当年度 最大で27万予定(当クラブの事業内容にもよる)

会員増強委員会

報告者 植田真晴



ロータリークラブには利害関係は存在しません。

ですので会員増強とは、いい仲間を増やすという事だと思います。

そのためにはどうするかというと、まずは我々が自分のクラブがどういうクラブかを知る事ではないでしょうか。

昨年、ロータリー・リーダーシップ・研修会(RLI) Part I

.II.IIIを受講しましたが、最も心に残ったセッションはPartIIの中の「1.戦略計画とクラブの分析」でした。

まずは自分の所属するクラブがどんな特徴があるか 他クラブと比べ 自クラブの強い点や弱い点、そして誇れる点について把握することが会員勧誘にとっても大切なことだと気づかされました。目の前にいい方がいらっしやっても説明できず 間違っただけでそのクラブや他の奉仕団体に入ってしまったらはお互いに不幸というものです。

たまたま私は当クラブが60年もの間に行ってきた奉仕事業を整理する機会があり それを年表にまとめましたところ富士ロータリークラブがいかに地域のために貢献してきたか実に驚きでした。しかもそれを他の奉仕団体のように自慢せず謙虚にきたところに風格と余裕を感じております。大変わかりやすい資料となっておりますので入会勧誘の際はお役立ていただき益々活力あるクラブにしていけたらと思います。

新年度の例会でも「会員増強フォーラム」が何回か組まれていると思いますが 日常生活の中で“この人こそ”という方を意識しながらご紹介くださいますようお願いいたします。

和の潤滑油は親睦です。そして仲間との充実した奉仕活動は会員同士の絆と尊敬を生み互いに人として高め合うことができます。つまり年齢性別に関係なく気の合う人との出会いは人生を豊にするとと言っても過言ではなく それこそがロータリークラブの真髄であり、我クラブは自他ともに誇れるクラブであると確信しております。

編集者 石橋 広明